

# さんのへ 議会だより

## ぼくもわたしも 交通安全

4月5日、パレードで交通安全を呼びかける  
ミューズ保育園の園児たち

### 第176号：平成30年5月

平成30年度予算の編成方針	2
平成30年度予算を審議	4
第474回定例会	6
三戸町交通安全母の会連合会をピックアップ	7
4議員が一般質問	8
常任委員会の活動報告	12
議会議員協議会研修報告	14

# 平成30年度一般会計予算 56億5,279万円の使いみちは？

第474回  
定例会  
3/2～3/9

## 平成30年度主要事業ピックアップ

**第3子以降子育て支援事業**  
～出産祝金や給食・教材費支援金を給付～



671万円

**木の駅プロジェクト事業**  
～木の駅により森づくりと地域活性化～



352万円

**保育料軽減事業**  
～第2子は半額、第3子は無料に～



5,281万円

**まちづくり人財育成事業**  
～対話の場を運営するファシリテーター育成～



260万円

**健康づくりチャレンジ事業**  
～健診受診等でスタンプ会のポイントを付与～



75万円

**消防団屯所事業**  
～屯所や乾燥塔の新築工事や用地購入～



3,570万円

**町道改良舗装事業**  
～バイパス府金線等改良舗装工事ほか～



5,324万円

**三戸城跡発掘調査事業**  
～城山公園大御門跡の発掘調査～



355万円

平成30年3月2日から9日、第474回定例会を開き、条例の制定や改正、補正予算案など36件を審議し、すべて原案どおり可決しました。

また、平成30年度予算を、全議員による予算特別委員会（船場清治委員長）を設置して審査し、一般会計ほか7会計すべてを認定しました。

## 予算概要

町の基本的な行政運営に必要な経費である一般会計予算は、昨年度と比べて2706万円の増額となりました。

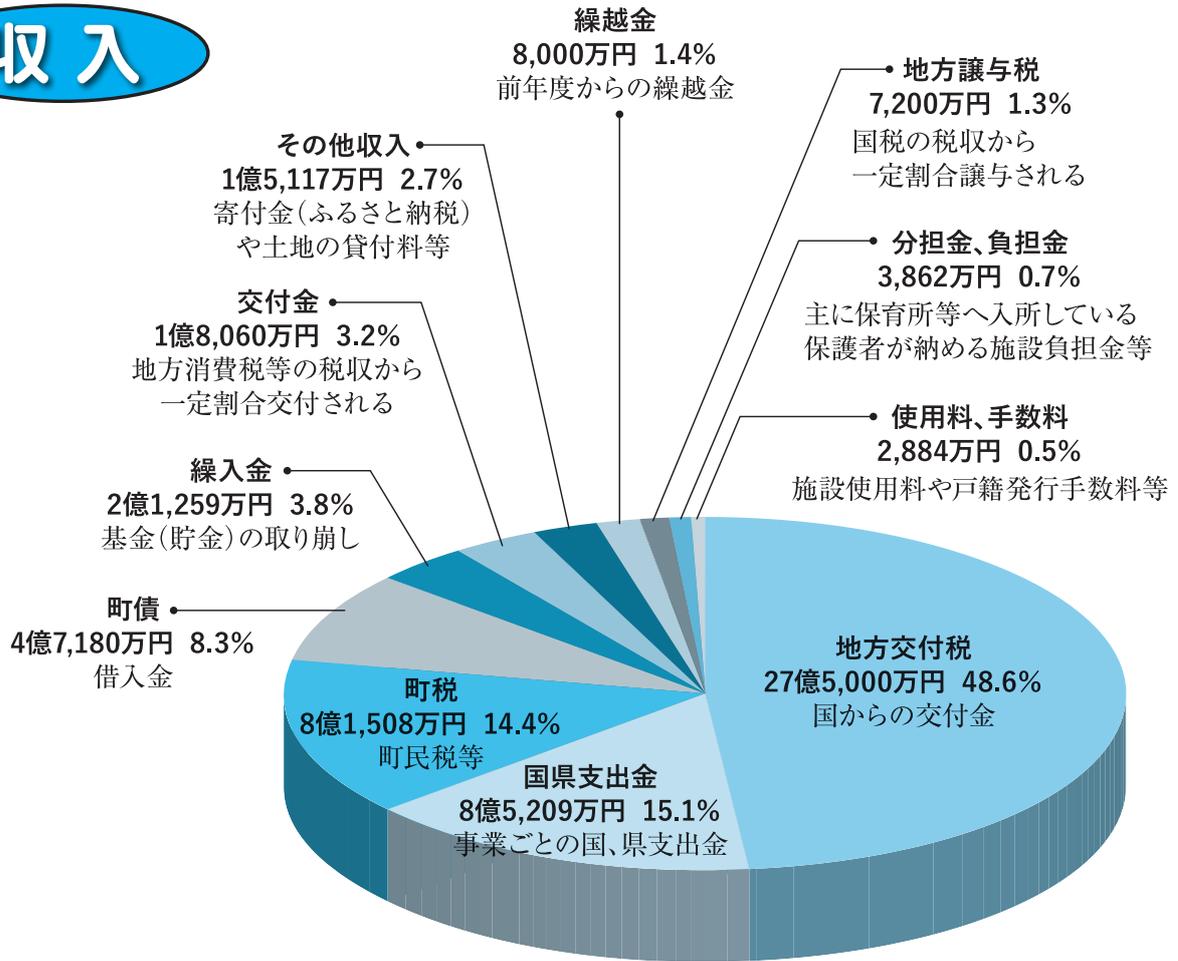
主な要因として、第3子以降の子育て支援事業や保育料軽減事業を拡充させ、子育てしやすい環境の整備や、木の駅プロジェクト事業で林地残材を活用した森づくりによる地域活性化を図る取り組みが行われます。

そのほか、健診の受診や、ウォーキング事業に参加することで三戸スタンプ会のポイントが付与される健康チャレンジ事業や、国道4号線につながるバイパス府金線等の町道改良舗装工事、消防団の拠点となる屯所の工事など、住みやすく、過ごしやすい町づくりを目指した予算編成となっています。

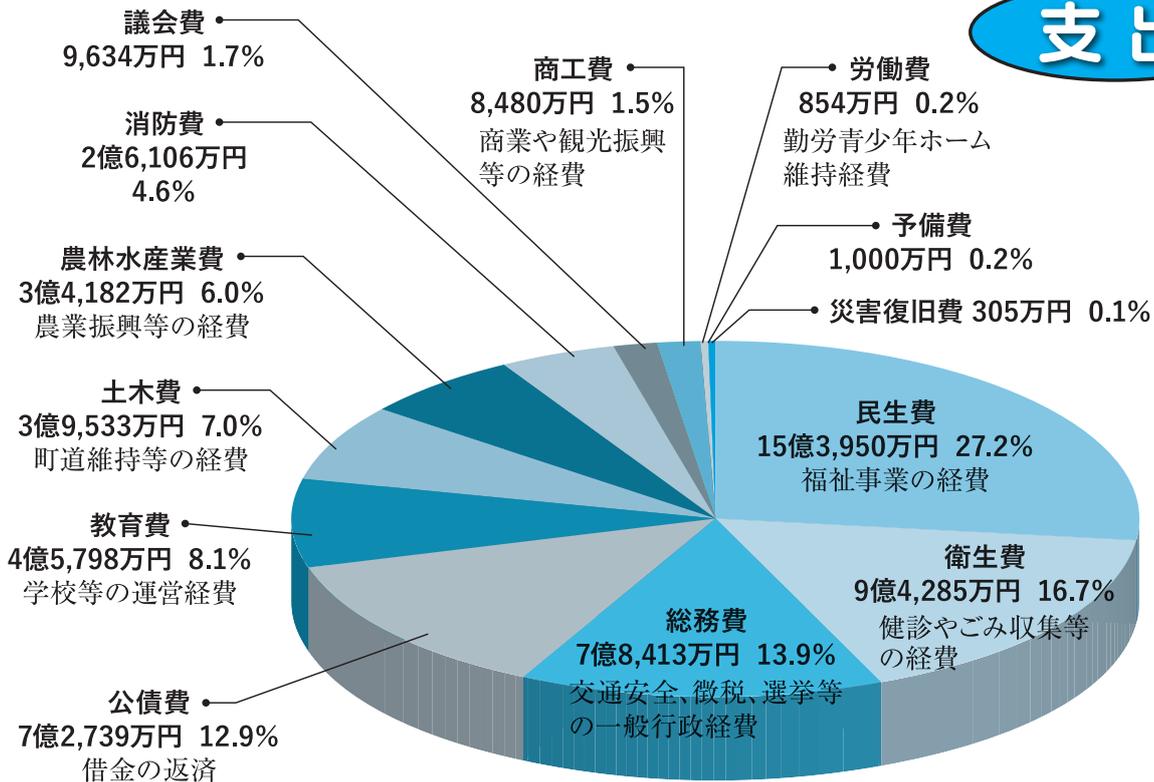
（予算特別委員会審議の詳細は、4～5ページに掲載しています。）

# 平成30年度一般会計予算の内訳

## 収入



## 支出



# 予算特別委員会

## 平成30年度予算は適正か審議

### 主な質疑

#### 一般会計

#### 免許返納者支援をもっと使いやすい形に

Q. 山口菊男議員

免許返納者へのタクシー助成が1日500円と、遠方からの利用者が使いにくい。

実態に合わせ、事業の在り方を検討しては。

A. 総務課長

1日500円ではなく1乗車500円と定めてあるが、遠方からの利用者のため、使いやすいルールを検討したい。

#### 11ぴきのねこの人形劇・ふるさと同窓会助成金とは

Q. 澤田恵委員

11ぴきのねこ人形劇とふるさと同窓会開催助成金は新しい事業であるが、その内容は。

A. まちづくり推進課長

人形劇は人形劇団クララテによる「11ぴきのねことへんなねこ」を10月ごろに町民体育館で公演する予定。

同窓会助成はふるさと納税PRや移住定住推進の観点から、町外からの参加者1名につき2千円、上限5万円を助成する予定となっている。

#### 第3子以降の子育て支援の効果的な実施を

Q. 佐々木和志委員

第3子以降に対する出産祝い金や補助金等の事業費が圧縮されているが効果が出るか。

A. 松尾町長

例えば出産祝い金50万円は、10万円を5年間で、5年後に見直すのではなく、受ける方の反応や、数値的な結果を見て対策を検討してまいりたい。

Q. 澤田道憲委員  
敬老会に参加して仲間と健康を確かめたいが、

#### 敬老会に参加したくてもできない人への配慮は

足が悪く会場行きのバス乗り場まで行けない人もいる。配慮できないか。

A. 健康推進課長

家族の方に協力をお願いするチラシ配布や案内ができないか検討するほか、バスの停車地点の移動や変更に対応できるのであれば考えてみたい。



昨年の敬老会のようす

#### 農業レベルアップ事業とは何か

Q. 大平憲男委員

新規事業である農業レベルアップ事業について詳しく説明を。

A. 農林課長

市場評価の高い産地の視

#### 空き店舗活用事業費補助金とは

Q. 山口菊男委員

空き店舗活用事業費補助

察や加工品の試作、ブランド化に向けた生産技術の確立など、農業所得の向上のための、農業者の創意工夫による取り組みに対して、補助率3分の1以内、上限10万円を補助するもの。

金は、商売なのか、交流の場なのかのような利用を想定しているのか。

A. まちづくり推進課長

雇用の創出、町の活性化に有効な小売業、サービス業、飲食業、コミュニティビジネス、IT関連などの事業を町の空き店舗で実施する場合の改修費への補助金。



空き店舗を活用したコミュニティスペース「まちの楽校」

### 三戸小中学校前の道路の安全対策を

Q. 大向信市委員

三戸小中学校前の県道の工事に伴い、見通しが良くなる、ドライバーもスピードを出しやすくなる。歩道の安全対策はとられているのか。

A. 教育委員会事務局長

今後、県が改修工事を進めていくので、工事の進捗をよくを見守りながら、それに合わせた安全対策をしていきたい。

### パークゴルフ場利用者増と芝生管理について

Q. 佐々木和志委員

パークゴルフ場の経費と利用料の差が大きい。利用者増に向けて何か考えているか、芝生管理は今後も毎年委託するのか。

A. 教育委員会事務局長

昨年までは芝生の育成が遅れ、年の後半に26回の大会が開催された。今年の芝

生はいいので倍以上の大会が見込める。

芝生の管理委託は、あと1年業者への委託によりしっかりとやれば、その後は維持管理の費用だけで済むようになる。



芝の状態が良くなったパークゴルフ場

### 下水道事業特別会計 多額の繰り入れはいつまで続くのか

Q. 山口菊男議員

総予算2億3千万円ほどのうち、町からの繰入金金が1億1千万円となつている。効果的な予算の使い方の観点から、これはあと何年続くのか。

A. 建設課長

現在は建設に要した起債

等の償還がピークで繰出しが多い。今後、償還額が減り、未加入者の接続が進めば、減っていく。

### 三戸中央病院特別会計

#### 電子カルテの導入スケジュールは

Q. 佐々木和志委員

電子カルテの導入までのスケジュールの説明を。

A. 病院事務長

30年度の早い段階で業者を選定し、12月までに導入し、調整や試験を行う予定。



滞在時間短縮が求められている三病

### 介護保険特別会計

#### 保険料引き上げないよう更なる努力を

Q. 大向信市委員

保険料が170円引き上げられた。もつと審議会で練り上げて、引き上げない方向で話し合いを持つことはできなかったのか。

A. 松尾町長

審議会へは私からも十分もんでもらうよう要請した。そしてできるだけ抑えるよう指示しての結果が170円の増である。

### 反対討論 大向信市委員

この会計は町の財政の扱いに問題がある。公約に反し新たな負担を決定した町長と、介護保険審議会の結論に対し、異議があるため反対する。

### 賛成討論 工藤範光委員

この会計に必要な予算が措置され、適正に運営されなければ、要介護者や要支援者が必要なサービスを安心して受けられなくなるため、賛成する。

(賛成12・反対1で可決)

## 会計別予算額

会計名		予算額	対前年度伸び率
一般会計		56億5279万円	0.5%
特別会計	学校給食共同調理場	4039万円	△1.7%
	簡易水道事業	4075万円	△9.5%
	下水道事業	2億3444万円	△11.0%
	後期高齢者医療	1億2668万円	6.2%
	介護保険	17億6321万円	△1.0%
	国民健康保険事業	14億5101万円	△19.9%
	三戸中央病院事業		
	収益的収入	16億8261万円	△0.4%
	収益的支出	17億0070万円	△2.5%

# 三戸町から医師の育成を 町医師奨学金「月15万円」→「月20万円」に



## 主な議案と質疑

### 医師奨学金貸与条例の一部改正

将来三戸中央病院に医師として勤務する意思を持つ者に、修学に必要な資金を貸与する奨学金制度を「月額15万円」から「月額20万円」に拡充する。

Q. 佐々木和志議員

制度開始から7年間活用実績がなかったための拡充だと思いが、町民への周知が徹底されていないのが原因では。中学生やその保護者から周知を。

A. 病院事務長

今後、中学や高校に足を運んで説明したい。

### 手数料徴収条例の一部改正

住民票交付手数料について、サービスを利用しない住民の税

金で無料化しており、公平性の確保のため来年4月から適正な負担とし、これを子育て施策へ活用する。

Q. 山口菊男議員

様々な場面で住民負担が増える中での実施となる。一年間の周知期間で住民感情への配慮も含め、十分に考えたいうえで施行していただきたい。

A. 松尾町長

聖域なき行財政改革に踏み込んだが、町民の意見を伺いながら周知も徹底して進めたい。

### 介護保険条例の一部改正

第1号被保険者の基準月額7450円→7620円への改正ほか

Q. 佐々木和志議員

前回の改正で大幅な値上げを行ったため、170円の増で収

まった。3年後の改正で値上げしないための取り組みは。

A. 健康推進課長

百歳体操のさらなる拡大や、地域支援推進員の配置、認知症カフェなどの取り組みを進めたい。

平成29年度一般会計補正予算  
5720万円の増

※主なもの

地域医療特別対策基金積立金

1億円の増

ふるさと三戸応援基金積立金

1,700万円の増

三戸小中井水ポンプ交換工事費

362万円の増



返礼品のウヒアハぬいぐるみ

## その他の議案

※主なもの

○町民プールの設置及び管理に関する条例の一部改正

○後期高齢者医療に関する条例

の一部改正

○重度心身障害者医療費助成条例の一部改正

○国民健康保険条例の一部を改正する条例案

○平成29年度簡易水道事業特別会計予算(第3号)

116万円減  
○平成29年度水道事業特別会計補正予算(第1号)

425万円減

○平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

241万円増

○平成29年度介護保険特別会計補正予算(第4号)

4848万円減

○平成29年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

9617万円減

○平成29年度三戸中央病院事業特別会計補正予算(第2号)

収益的収支446万円減

## 追加提案

平成29年度一般会計補正予算  
1000万円の増

※2月中旬以降の降雪回数の増加により除雪費の不足が見込まれたため。



©馬場のぼる

# とらねこたいしょうのピックアップ特集

## 「交通事故<sup>ゼロ</sup>を目指して」

～三戸町交通安全母の会連合会の皆さんをピックアップ～

4月5日、三戸町で開催された「春の交通安全運動三戸合同総決起大会&交通安全パレード」を終えた、三戸町交通安全母の会連合会の皆さんに、日ごろから交通安全について取り組んでいることや考えていることを伺いました。



母の会佐藤会長

### ●参加された皆さん

- 佐藤厚子会長
- 伊達廣子顧問
- 坂本由実子さん (三戸小)
- 小川千恵子さん (斗川小)
- 水梨 栄さん (斗川小)
- 山本奈津子さん (杉沢小)
- 西野 昌子さん (中央保)
- 館 秀子さん (ミューズ保)
- 戸川 真以子さん (三戸保)

(聞き手・広報編集委員)

○春の交通安全パレードはいかがでしたか？

■毎年、交通安全指導隊や婦人

会など、たくさんの人にパレードを盛り上げていただき、感謝しています。

■沿道にたくさんの方が出てきてくれて、交通安全をアピールできてよかったです。

■三戸、南部、田子それぞれの町のキャラクターが先頭を歩いているのがいいですね。

■子どもと一緒にパレードを歩くことができて楽しかったです。

○母の視点で交通安全に気を付けていることは？

■子どもが学校に行くときは、顔を見て「いってらっしゃい」と声をかける。事故でお子さんを亡くした方が、その日それをせずに後悔しているという話を聞き、心がけています。

■家族みんなで車に乗っていると、おしゃべりが盛り上がるころがあるので、運転に集中するように心がけています。

■子どもが保育園児だと、まだまだ交通安全意識がわからないのですぐに道路に飛び出してしまふ。道路に出るときは手をつないだり、飛び出しそうになったら大きな声をかけたりしています。

○子どもの交通事故対策に不可欠なものは？

■横断歩道にストップマークをどんどんはりしたいですね。

■斗川小学校学区では、通学路の危険場所マップを作成しているので、他の学区でも作ってはどうでしょうか。

○交通安全に限らず町や議会に望むことはありますか？

■通学路に空家の木が覆いかぶさっているところがある。雨水や雪が落ちてきて濡れるので、

対処していただきたい。

■多くの部活動がスポークラブに移行しているのは仕方ないが、指導者が不足している。コーチ業務はボランティアで、自分の仕事後に指導しており負担が大きい。何らかの形で支援してほしい。

■三戸町はごみが多い町だと広報で見た。普段からごみの分別やリサイクルを心がけているが、どのくらいごみが減っているのか目に見えない。成果が見えれば、町民のリサイクルの意識もより高まると思うので広報していただきたい。



### ◇取材を終えて

今回紙面に掲載しきれなかったお話を含め、母の会の皆さんの「母ごころ」あふれるご意見やご要望をお聞きすることができました。

町では子育て支援に力を入れていきます。子育て真っ最中の「生きた声」を行政に届け、子育てしやすい町づくりに尽力したいと思います。

(広報編集委員会)

第474回定例会において、議員5人が登壇し、町の政策や方針について一般質問しました。



なんぶ丸

## 山口 菊男 議員



### Q1 観光による町活性化策について

三戸町は主要道が通り、十和田湖、名久井岳、三戸城があり、大型観光スポットとなっているが、現状はまける日、春・夏・秋まつりなどの伝統行事は衰退している。

道の駅、産直ひろばについても、来客の変化に対応した創意工夫をしなければ来客の減少は止まらない。パークゴルフ場は、入場者数増のため、周辺施設と

の相乗効果を発揮し、町の魅力を伝えるために機能強化すべきである。

これらを踏まえ、地域経済に大きく影響する観光施策の次の項目についてどう考えているか。

- ① 街歩き観光の目玉である佐瀧邸の維持管理
- ② 城山公園の維持管理状況
- ③ 宿泊施設のない当町の現状と課題

④ 食による町おこしの方向性課題への取り組み

⑤ 三戸城跡の国史跡指定へのスケジュール

⑥ 道の駅その他周辺施設の相乗効果策

⑦ DMO三戸版による観光地域づくり推進の検討

#### A

町長答弁

① 佐瀧邸は、所有者と協議のうえ、適切な維持管理方策を探りたい。

② 城山は管理人増員、景観阻害建物の撤去、樹木マップ・台帳の整備を実施した。今後も適切な管理に努める。

③ 宿泊施設誘致のため各方面と意見交換したが、実現に至っていないが引き続き協議を重ねる。

④ 首都圏向けの情報番組で三戸の粉物文化が絶賛された。地元では当たり前の粉物の素晴らしさを売り込みたい。

⑤ 今年度は専門家による三戸城跡保存整備検討委員会を立ち上げたほか、大御門跡から南部家関連城館では最大規模の礎石が見つかった。今後も国・県の指導をうけ、できるだけ早く指定を受けられるよう進める。

⑥ 道の駅・産直の満足度向上、リピーター増を目指す。周辺施設との連携はパークゴルフ場運営協議会で協議し、道の駅・産直の物産を景品にするなど取り組みたい。

⑦ 八戸圏域連携中核都市圏8市町村構成するDMOが平成31年発足する予定。これには専門職員が配置されるのでこれに参画し観光振興を進めたい。

### 再質問1

国の登録文化財である佐瀧邸を含め、他の自治体がうらやむ歴史、文化、芸能を持ちながら、生かし切れていないのでは。

#### A

友田博文教育長  
弘前城には藤田邸、三戸城には佐瀧邸と、県内どこにもない遺産。地方創生施策など、町と協議し、活用を進めたい。

### 再質問2

三戸城跡の国史跡の指定に向けて、何が課題なのか。

#### A

教育委員会事務局長  
大御門跡も含め、発見された遺構、遺物の検証作業を経て、城跡の総合的な歴史概要をまとめる必要がある。

#### A

町長答弁  
① 平成28年10月から午後2時から4時まで午後診療実施中であり、夜休日は救急対応により診療している。

② 整形外科、小児科ともに、非常勤医師の派遣を受けている。産科は非常勤または常勤医ひとりでは対応が難しいが確保に取り組み。

③ 週2回の整形外科医、月1回の脳神経外科医の派遣を継続する。

④ 日本の医療の細分化が進んでいることから、総合診療科を中心に、初期治療や日常的な診療を実施する「かかりつけ医」の役割を担っていく。専門治療は専門医へ紹介し、治療後の経過を管理していく。また、在宅医療にも取り組んでいる。

### Q2

#### 三戸中央病院のあり方について

町民の生活に重要かつ充実の



さんのへ街歩きの人気スポット佐瀧別邸



役場1階に設置されている  
鐘里の優勝額

大平 憲男 議員



Q1  
観光の充実と名誉町民  
について

- ①街中に気軽に入れる観光案内所を
- ②昔の町を知るボランティアガイドで観光案内を
- ③町の名誉町民の活躍を紹介する施設を

④県外で活躍する三戸人を紹介してはどうか

A 町長答弁

- ①中心街の観光案内は役場で行っているが、関係者と協議のうえ判断したい。
- ②街歩きガイドが現在案内している。高齢者の生きがいづくりへ体制を整備したい。
- ③現在横綱鏡里と馬場のぼる氏の紹介のみだが、町民が地域に誇りを持てるよう、全名誉町民を紹介したい。
- ④まずは町民が町に誇りを持てるよう、広報等により紹介していきたい。

再質問1

町中心部の空き店舗を借り受

けるなどし、名誉町民を紹介する資料館を設置してはどうか。

A まちづくり推進課長

非常に良いアイデア。いま観光案内所という話も出ていたので、これにどういった機能を持たせるか、町の観光振興のためどの形が良いのか、関係者と十分に協議したい。

Q2  
農業の現状と対策について

- ①農家戸数と後継者数
- ②農家の未婚者数、結婚対策は
- ③町の農業表彰の創設を
- ④町が推奨する新たな農産物は
- ⑤遊休農地の貸し借りの現状と新規就農者は

A 町長答弁

①農林業センサスによると、販売農家数631戸のうち後継者同居は209戸。②国勢調査で町の未婚率が2割であることから、農家1314人のうち、30歳以上55歳未満の176人のうち35人が未婚者と推測される。農協や連携中枢都市圏など

で出会いサポート事業を実施している。参加を促し未婚率の減少につなげたい。

A 農林課長

現在、たばこ耕作組合の優秀耕作者、ブドウ・リンゴの品評会、畜産品評会で三戸町長賞を授与している。それを周知することで生産意欲が向上するのでは。

④酒米の推進やサクランボの新品種ジュノハート、安定的な収入が見込める軽量作物の作付拡大が考えられる。他の産地に先駆けて取り組む体制整備のため生産者への情報提供に努める。

再質問2

⑤平成24年から5年で24人が就農。うちUターンが8人。就農相談はこの2年で8件。うちひとりりは30年度就農予定、4人はすでに親元就農。3人が将来の就農を希望中。今後掘り起こしに努めたい。

葉タバコは今後衰退していくと思うので、農家が元氣なうちに次の一手を打つために、海外に向けて売れる農産物を、農林課や農業委員会が探す努力をすべきと思うがどうか。

葉タバコは今後衰退していくと思うので、農家が元氣なうちに次の一手を打つために、海外に向けて売れる農産物を、農林課や農業委員会が探す努力をすべきと思うがどうか。

Q3  
議場と議員派遣について

- ①議場の絵は変えないのか
- ②議員のタムワース派遣を
- ③一般質問答弁書の議員への配布を

A 町長答弁

①最初十和田湖をイメージした絵であったが、議員の要望によりかけかえた。議会の要望があれば対応したい。

②議員全員でのタムワース訪問は、議会の皆さんの意見を聞き対応したい。

③答弁書の配布は緊張感を欠くという、町民の指摘で廃止した。一般質問は担当課との事前協議を深めることで質疑応答をよくしたい。



かつて日本一の生産量  
だった葉たばこ

久慈 聡 議員



## 地域商社の今後について

Q1

地方創生推進交付金を活用し、地域商社機能の構築・強化事業として、商品の調査、絞込みの結果11種類が商品化候補との見込みだが、決定までの詳細な経緯と今後の計画遂行への理論は。



テスト販売された三戸精品

**A** 町長答弁

まず地域の特徴的な産品調査をし、さまざまな項目により点数化し委員会で協議し、絞り込んだ結果、紅玉、ガマズミ、ホップ、三戸せんべいを使用した11種の商品が完成した。

今回の事業はテスト販売し、その結果を分析するまでであり、販売事業計画等は来年度以降策定していく。

## 再質問1

今回商品化された商品の製造元はすべて三戸町か。

**A** まちづくり推進課長

三戸町ですべての製品を製造したいが、ビールなど、機械や設備上三戸で製造できないものは、郡内、郡内になければ県内としている。

## 再質問2

商品化に伴い、何度も「さんのへ」を覚えてもらいたい、ネームバリューを上げたいと、以前議会でも話していると思うが、そこに繋がるか。

**A** まちづくり推進課長

今回は産地、地域全体を捉えるコンセプトでブランディングする地域特性総合型で進めた。地域ブランドを作りながら三戸町のPRを進めたい。

## 再質問3

「さんのへ」というネームバリューを上げる為の手法の1つだと考えているが、そのためにもっと独創的な商品の提案はなかったのか。

**A** まちづくり推進課長

樹齢百年の紅玉を使ったジュースや、三戸町のホップを使ったビールは、町外の方がみれば特徴的な商品になっている。

## まとめ

商品開発に対して不透明な部分があったのではないかと。開発時点でどんな商品がリストアップされ、その中に差別化できるものがあるか、どんな付加価値を付けるかなどの情報を出していただきたかった。

11種類の商品が予測に沿って売れていけば問題ないが、この

商品で勝負してゆけるか不安なスタートである。

以前より一貫して話しているが、「さんのへ」のネームバリューを上げるひとつの手法であり、それが雇用促進、移住定住につながる。

より一層当事者意識を持ち、今後の進ちよくをお知らせいただき、安心して見守ることができるよう配慮いただきたい。

Q2

## ごみ処理に関して

町のごみ排出量と削減対策の現状と、今後のごみ削減・3Rの取組計画は。

**A** 町長答弁

平成27年青森県は全国ワースト5位、三戸町は県内ワースト9位である。現在はペットボトルやダンボール、紙類など、資源回収に努めており、来年度は空きビン収集専用のコンテナを導入し、より一層のごみ減量化に努める。

## 再質問1

生活意識を高めるため、一歩踏み込んで、水分を減らすなど

家庭でもできる工夫を住民へ指導・教育しているのか

**A** 住民福祉課長

小中学生を対象に、生ごみの水切りキットを配布した。まずは小中学生のいる家庭から、環境問題に取り組んでいた



配布された水切りキット

## 再質問2

ごみカレンダーがA3サイズの紙にすべての情報が書かれていて、字が小さく、お年寄りには見にくいと思われる。もっと大きく見やすいものに変えられないか。

**A** 住民福祉課長

ご提案について、住民にわかりやすいごみカレンダーの作成を検討する。

大向 信市 議員



Q1の1

三戸町内環境面の課題と美化促進について

三戸町は自然の豊かさを誇りとし、歴史・文化・教育の町を提唱しているが、大舌地区へ産業廃棄物最終処分場を受け入れ、沼尻地区の家電廃棄物放置は未解決となっており、行政の責任が問われるがどう思うか。また、大舌地区へこれまで運搬された廃棄物の量と、車の台数、そしてこれはいつまで続くのか。

A 町長答弁

沼尻地区の廃棄物の件は、原因者に連絡を取り、指導を行ってきた。その結果平成28年12月と平成29年7月に撤去を行っている。引き続き原因者へ

の指導を継続する。大舌地区の産業廃棄物管理型最終処分場にこれまで搬入された量は91万6000トン、運搬車台数延べ9万2千台あまり、埋め立て期間は平成50年3月31日までとなっている。



町の美化を損なう廃棄物の放置

再質問1

県境産廃の問題は、忘れてはならない衝撃的な事件であった。大舌地区も青森県と岩手県の県境であり、問題はないのか、また河川への問題はないのか。

A 住民福祉課長

主に上十三地区の廃棄物を受け入れている。産廃の運搬や保管処分には、法により厳し

い罰則があり、事業者が違反すると罰金や懲役の処分を受ける。大舌の事業者は県の指導を受け、適切に実施していると思われる。

再質問2

二戸市からも心配の声が上がっているが、二戸市からの搬入はないのか。

A 住民福祉課長

この処分場に県外からの廃棄物を受け入れるためには、県の許可を得なければ実施できない。今のところそのような情報は聞かれない。

Q1の2

三戸学園グラウンドと県道の境のサクラの木とツツジの木の全伐採は、県の事業によるが、今後町と県の支援による対応はあるのか。

A 町長答弁

三戸学園開校による通学路の安全確保のため、県道拡幅に係る用地を提供したため伐採を行った。サクラの木については新たにハナミズキなどの他の

樹木と合わせて植樹する予定である。



改良される三戸学園前道路

再質問1

素晴らしい桜並木であったため、寂しい思いをしている生徒や地域の人々もいるのではないかと。もっと早く対応策をPTAや周辺地域の住民に示すことができなかったのか。

A 教育委員会事務局長

保護者へは学校をとおしてチラシを配布して周知したが、周辺の町内会については事前に工事の概要を伝える配慮に欠けた。今後は周辺住民にも知らせる方策をとって進めたい。



サクラが伐採されたあたりまで拡幅される予定

# 委員会調査レポート

議員は3つの常任委員会のいずれかに所属しています。各委員会では、議会が閉会中に担当する分野について町の課題などを調査し、その調査結果を議会で報告しています。

総務文教常任委員会

## 三戸城跡の国の史跡指定に向け 本丸跡地の調査を

◇2月13日、三戸城跡発掘調査事業の結果報告と南部経直位牌発見経緯と意義について、調査しました。

### 〔調査項目〕

- 三戸城跡発掘調査について
- 南部経直位牌発見について

### 〔調査結果・意見〕

○最も重要な本丸跡地の調査が史跡指定には重要であるため、発掘調査を進める必要がある。

○大御門の調査だけでは史跡指定は難しいため、本丸跡地

を調査するためにも土地の問題を解決してほしい。

○福岡城代であった南部経直は、法泉寺開山に関わる県重宝クラスの文化財となるため、よく協議し進めてほしい。



売店が設置されている三戸城本丸跡

新たに発見された  
南部経直公の位牌



正面

背面

民生商工常任委員会

## 十分な保育士等の配置と 園児の交通安全対策を

◇2月7日、保育関連施設の管理運営状況について、施設を訪問し、調査しました。

### 〔調査項目〕

- 中央児童館の管理運営状況
- 中央保育所の管理運営状況
- いずみ幼稚園の管理運営状況



保育士の確保は施設の安全運営に欠かせない

### 〔調査結果・意見〕

○配慮が必要な児童等の対応で、職員が足りないため、児童厚生員を増員してほしい。

○最小限の職員数で、ローテーションが厳しい。保育士を増員してほしい。

○カーブミラーやガードレールの設置など、幼児の安全確保を最優先に交通安全対策を講じてほしい。

○国道の信号機移設も検討してほしい。



いずみ幼稚園出入り口付近

# 陳情採択路線は適切な対応策を！

◇1月19日、町公共工事及び冬期の道路管理状況について、陳情採択された町道を中心に現地調査しました。

〔調査場所〕

- 在府小路町4号線
- 八百平延伸道路 (横道地区)
- 橋ノ下地区水路 (川守田地区)
- 中平線 (諏訪内地区)
- 古間木平裏通線 (同心町地区)
- 森ノ脇地区集落道 (斗内地区)
- 斗内清水田地区排水路



急勾配な道路には凍結対策を

○丹内農道

(斗内沼ノ久保地区)

○中村地区集落道

(貝守地区)

〔調査結果・意見〕

○在府小路4号線と橋ノ下地区の排水路は、道路中央部に布設する等を検討し、整備を進めてほしい。

○現在工事をしている八百平延伸道路は、いずみ幼稚園へつながる道路となるため、今後の活用策の検討が必要である。

○急勾配の中平線は、グルーピング舗装を施す等の冬期凍結対策を進めてほしい。



八百平延伸道路は今後の活用策の検討を

# 常任委員会のメンバーが変わりました！

議員が所属する常任委員会メンバーが改選となりました。任期は2年です。

総務文教常任委員会

委員長 船場 清治



副委員長 船場 栄



委員 山口 菊男



委員 佐々木 和志



委員 坂本 勝克



民生商工常任委員会

委員長 澤田 道憲



副委員長 大向 信市



委員 久慈 聡



委員 大平 憲男



委員 澤田 恵



建設農林常任委員会

委員長 北向 敦



副委員長 中村 喜正



委員 和田 忠



委員 工藤 範光



議会運営委員会

委員長 山口 菊男

副委員長 大向 信市

委員 久慈 聡、大平 憲男、北向 敦、坂本 勝克

# 地元の魅力を再発見し

## 広域観光による地方創生を

◇平成30年1月29日、三戸郡町村議会議員研修会が二戸ロイヤルパレスにおいて開催され、当町議会議員13名が参加しました。

(演題)

『広域観光の推進について』  
IGRいわて銀河鉄道株  
代表取締役 菊池正佳 氏

(概要)

IGRいわて銀河鉄道株式会社では、東北新幹線開業（平成14年12月）時に、二戸広域の自治体、商工会等で構成するカシオペア連邦観光推進事業実行委員会を組織し、官民一体化した運営で、地域の魅力を再発見し、素材を磨き上げた。形式にこだわらない広域観光の推進は、人と人とのネットワークが構築され、その中で地域のリーダーが育成され、地域を動かす結果となった。  
多様な関係者と連携する



IGRの魅力的な広域連携を実践している講師の菊池正佳氏

連携中枢都市圏講演会

# 八戸圏域市町村の連携で

## 生活関連機能のサービス向上へ

◇平成30年2月9日、連携中枢都市圏の形成に関する講演会が五戸町立公民館において開催され、当町議会議員5名が参加しました。

(演題)

『連携中枢都市圏の最新の動向について』  
総務省自治行政局市町村課 課長補佐 甘利英治氏

(概要)

連携中枢都市圏は、産学金官の共同研究等による経

済成長のけん引や高度医療の提供体制の充実等の都市機能の集積強化を図り、住民の生活サービスを向上させることで社会経済を維持することが目的である。

(所感)

国では地方交付税措置による全国展開を促進し、30年度予算も1億3千万円を計上している。

(所感)

八戸圏域の枠組みで、圏域住民にとってメリットのある事業を今後も推進する必要がある。

# ～町民の声～

◆「商店街活性化対策は、議会だけでなく、商工会や町内会等でも活発な話し合いがされ、賑やかになるよう願っています。」

◆「若者が住みたいと思う住環境の整備を望みます。」

◆「議員の質問に、町長は未来と希望のある説明でわかりやすいです。」

◆「町民の声をもう少し聞いてほしいです。」

◆「多くの町民に傍聴してほしいです。」  
(傍聴者からのご意見)



昨年から掲載している「ピックアップ特集」では、町内の各種団体の皆さんから、議会だよりを読んでいるか、町や議会に望むことはあるかなどお聞きしています。

皆さんからは「議員が何に力を入れているのかわかる」「町を支えていく若い世代に行政や議会を知ってもらおう機会を増やしてほしい」といったご意見が寄せられます。

「ピックアップ特集」が住民との直接対話の場として、また議会を知ってもらおうよい機会となっており、私たちが目指す「開かれた議会」へ役立っております。

ぜひ一度議会を傍聴して、お気づきの点があれば、遠慮なくお聞かせください。私たち議会人の議会活動として大いに勉強になりますし、わかりやすい議会だよりの提供につながりますので、よろしくお願ひします。(澤田道憲)

平成30年5月  
議会広報編集委員会  
委員長 船場清治  
副委員長 北向敦  
委員 澤田道憲  
委員 山口菊男  
委員 佐々木和志  
委員 澤田恵

## 6月議会のお知らせ(予定)

6/4(月) 10:00～

・町長からの議案説明

6/5(火)～6日(水) 休会

6/7(木) 10:00～

・一般質問

6/8(金) 10:00～

・一般質問、議案審議・採決

開会予定日は**6月4日**です。



Facebook配信中!!

## 議会のツイッター始めました!!

議会の情報を、わかりやすく、リアルタイムでご紹介するために、ツイッターを開設しましたので、ぜひご覧ください。

(議会ツイッターアドレス)

<https://twitter.com/GikaiSannohe>

今すぐアクセス!!

TEL:0179-20-1159 FAX:0179-20-1110  
〒039-0198 青森県三戸郡三戸町大字在府小路町43  
E-mail: gikai@town.sannohe.lg.jp